

信州やまなみ全障スポに向けた～ 障がい者スポーツ行動推進計画の見直しについて

障がい者支援課

1 計画の概要

本計画は県障がい者施策推進協議会の障がい者スポーツ部会専門部会(平成30年12月設置)において、競技団体、学識経験者、行政など多方面の意見を反映し、県が令和3年3月に策定。信州やまなみ全障スポに向けた競技力向上に加え、障がい者スポーツの裾野拡大や普及促進を取り込んだ総合的な計画。

2 計画策定した当初とは異なる状況の変化

▶ コロナ禍に起因する障がい者スポーツ人口の伸び悩み

コロナ禍の影響により多くの大会や体験会が中止になるなど、スポーツをする機会が減少し、障がい者のスポーツが停滞している。

▶ 県組織における障がい者スポーツのスポーツ部局への一元化

令和6年4月以降、スポーツ行政の所管を教育委員会から知事部局に移管することを機に、一般スポーツと障がい者スポーツの組織を一元化する準備を進めている。

(国民スポ・全障スポは、当該計画の策定前から、一体的に開催する前提で準備が進められており、また本計画第4章でも、行政の一元化等を念頭に計画策定されている。)

3 今後の対応案

(1) 見直しに対する考え方

現計画は、専門部会において2年余の議論を経て、多様な意見を集約したものであり、現在、この計画に基づき支援を進めている。今回の見直しは、上記2の状況の変化により必要な箇所を対象とする。

(2) 見直しを予定している主な事項

(1) 第1章 基本的な考え方

状況の変化について追記

(2) 第2章 長野県の障がい者スポーツの現状と課題の整理について

1 現状 「コロナ禍に起因するスポーツ機会の減少等」の項目等を追記

2 課題 「スポーツ行政一元化以降のスポーツの裾野拡大や普及促進への取組について」

(3) 第3章 障がい者スポーツの振興に向けた行動推進計画について

6つの施策の取組を下記の観点を入れて見直す。

○スポーツ行政の一元化により、期待される一般競技団体との連携や支援強化について

○コロナ禍に起因するスポーツ離れに対応するため、特に注力が必要な事項について

○福祉的な支援が必要な障がい者スポーツの裾野拡大や普及促進への施策の充実について

(4) 第4章 計画の着実な推進

2 推進体制の構築

「②スポーツ行政の一元化等の検討」項目は、令和6年4月を見据え、具体的な内容に修正

(3) 今後のスケジュール

令和6年1月上旬～ 障がい者スポーツ部会専門部会で作成に関わった委員への意見照会

令和6年2月～ 県障がい者施策推進協議会で審議

令和6年3月 県公式HPで公表